

市民意識調査に係る意見及び修正等について

委員名	問番号	番号	意見
小島委員	3	J	欄外に※印で説明がありますが、パートナーシップ宣誓制度は同性同士のみではなく異性間の適用もあるのでしょうか。もしあるようでしたら異性間の適用もあることがわかるような説明がよいと思います。
木野委員	3	H	子供⇒子ども
橋本委員	3,4	-	問3は主にパートナーについて、問4は子供を含めた家族についての意識調査という建付けではないかと思われます。 そうであれば、問3Jにおいてパートナーシップ宣誓制度についての設問があることから、問4においてファミリーシップ宣誓制度についての設問を設けてもいいのではないかと思います。
村上委員	3,4,8,15	-	回答選択肢の「どちらともいえない」が最後の5番にきているが、中間の意見なので中央の3番に入れた方が分かり易いが、中間の意見なので中央の3番に入れた方が分かりやすいのではないか。また集計をする上でも数値化しやすくまとめやすいと思う。
橋本委員	4	B,C,D	「子どもの育て方について」という問との関連が分からないと思います。また、関連があるとしても、回答する側の解釈によって質問の内容が多様化しすぎるのではないかと思います。
木野委員	4	A	男の子も女の子⇒性別に関係なく
村上委員	5	-	すべて「参加」⇒「参画」に修正 設問によって回答数が1～3までとばらつきがあります。 各設問における選択肢の数によって回答数を変動させていると思われるのですが、問5は（ひとつだけ○）となっていますが、選択肢が10あるので複数回答でもいいのではないのでしょうか。 設問では「男性が家事・育児・介護・地域活動に参加」となっていますが、回答1,2では「家事参加」しか書かれていません、回答5とも合わせて「男性が参画すること」へ修正
橋本委員	5	1,2	「男性が家事参加することへの」とした方が分かりやすいと思います。
橋本委員	5	7	「男性の関心」とするほうがよいと思います。
橋本委員	5	9	「そのための」が分かりにくいと思います。
中嶋洋子	5	-	11. その他 ( ) を入れた方が良いのでは？他にも良い意見があるかもしれないため
木野委員	6.7	-	就労について←今や‘共稼ぎ’でやっと生計が成り立っている 若い世代の家庭状況への認識はあるのか？
木野委員	10	10	非正社員⇒非正規社員
木野委員	10	12	周囲の理解←この表現は漠然とし過ぎている。 →社会全体の理解と協力支援
橋本委員	11	2	「子育てにかけられる経済的余裕がない」等の表現にしたほうがよいと思います。
橋本委員	11	6	4の質問と重複していると思うので、6は削除でよいと思います。
橋本委員	11	8	「子ども一人あたりにかける時間と費用を充実させたい」等の表現にするほうがよいと思います。
村上委員	12	-	「男性の育児参加」⇒「男性の育児・家事参画」 回答はひとつだけではなく複数回答でもいいのではないか
橋本委員	12	5	「パートナー双方が育児に参加すること」等の表現にしたほうがよいと思います。
橋本委員	12	6	選択肢として不要だと思います。
木野委員	12	6	一般的な女性の働き方の理想についての‘質問’なので、今回変えようがないと思うが、高度経済成長期の主婦の時代はとっくに終わって、現実には女性も小さい子を預けながら毎日仕事に就かざるを得ない。現実と理想のギャップがあり、現在はひたすら女性が家事・育児・仕事に追まわられている。アンケート調査を取るとき、そうした背景の変化を考慮した質問は今後加えていくのか？
橋本委員	14	4	4の選択肢を設けるのであれば、「娘の夫に世話をしてもらおう」という選択肢も設けるべきだと思います。
橋本委員	15	E	「身体への影響」との表現が分かりにくいと思います。

小島委員	24	設問	設問に「男女平等参画社会」とありますが、言葉の説明があった方がいいように思います。 (男女共同参画社会との違いがわかるように) もしくは単語ではなく、「男女が平等に暮らせる社会を形成していくためには」と文章にした方がいいように思います。
木野委員	24	3	各種団体の女性リーダーを養成する⇒起用する
木野委員	24	7	男女平等教育の推進⇒ジェンダー平等教育の推進(学校ではここ数年“性の多様性”について教師も生徒も学んできているし、SDGsのゴール5でジェンダー平等に向き合い、意識が進んでいるので、“ジェンダー平等”としたい
木野委員	24	10	被害者の救済システムと加害者の更生システムの整備 をそろそろ入れてほしい(日本のDV法は片手落ち)
庄子委員	-	-	内容については特段問題ありません。 このような取り組みに対して、ポジティブに市民の方に協力してもらおう方法について、どのような考えを既にお持ちでしょうか？ 例えば、「一般財団法人東葛教育会館」や「柏市PTA連絡協議会」と共同イベントを開催し、そこに集まった大人の方にこの取り組みの趣旨・意義を紹介、配付して協力を募る方法はいかがでしょうか。 私共、千葉県教職員組合もその仲立ちとして動くことができます。
中嶋委員	-	-	このアンケートを答える方 男女？ 年代？等の項目も入れる予定ですか？
津波委員	-	-	市民意識調査の結果はどこかで見るのでしょうか。 結果を汲んで問題点を改善していく仕組みがあると良いと思います。 また、回答方法は、記述の他に回答フォームなどあればたくさん回答が集められるかと思いましたのでご検討ください。
大村委員	-	-	特にありません。